

令和3年度「第46回全国高等学校総合文化祭東京大会」広報業務企画・運営委託  
企画提案審査基準

## 1 審査項目

以下の項目について審査する。

### (1) 広報業務計画等の策定・実施

ア 大会基本方針をふまえ、大会本番までを見据えて、主に、中学校・高等学校・特別支援学校及び生徒等をターゲットとした訴求力のある広報戦略及びスケジュールが提案されているか。

イ 大会PR動画や公式ホームページ、Twitter、Instagram、YouTube等を効果的に活用した高校生等の興味を引くようなPR企画、Web広告及び周知方法が提案されているか。

なお、高校生等が参加できるPR企画を提案する場合は、本業務が高等学校教育の一環であるという趣旨を踏まえ、トラブル等が発生しないよう留意した上で提案されているか。

### (2) 広報ツール・デザイン制作

ア PR効果が高く、大会の魅力が伝わるPRポスターやリーフレットが提案されているか。

イ 大会グッズについて、イメージカラー・キーデザイン・これまでの制作物に沿い、誰にとっても印象が良く、特に高校生を中心に中学生を含めた生徒が興味関心をもつようなデザインとなっているか。

### (3) おもてなしの企画・発信

ア 総務委員会生徒の意見を企画に反映させる手法を検討したうえで東京らしいおもてなしの企画が提案されているか。

イ 公式ホームページを活用した総合案内（会場案内等）の企画について、全国から集まる参加者、観覧者等にとって印象がよく、大会の魅力や開催情報が分かりやすく伝わる提案がされているか。

### (4) 公式ホームページの新規ページ作成

プレ大会、大会開催300日前及び200日前を迎えるにあたり、気運醸成を図り、高校生などの興味を引くようなコンテンツが提案されているか。

### (5) KPIの設定

大会気運醸成に向けた効果的な広報戦略に活かすことのできる具体的なKPI測定の実施計画が提案されているか。

### (6) その他

必要な経費・項目が過不足なく考慮されているか。

## 2 審査方法

上記審査項目については、「5」優れている、「4」やや優れている、「3」普通、「2」やや劣る、「1」劣る、の5段階で評価し、合計点のもっとも高い企画を採用する。

なお、合計点が同点となった場合は、審査委員会で協議の上、最も優れた企画の採用を決定する。

また、企画提案書類内及びプレゼンテーションの際において、具体的な会社名又はそれを類推させる事項に言及したときは、場合により失格とする。

## 3 採用最低基準

全審査委員の評価が、全て5段階中「2」以上であること